



ビタミン注射液 500mg 保存方法変

当院では、これまでビタミン注射液500mgは使用頻度が高く、安定性も30℃で6ヵ月安定だったため、保存方法を室温保存としていました。しかし、現在は使用頻度が少なくなっていることや変色の報告及び安定性試験データから、5月17日より冷所保存に切り替えました。これに伴い、処方箋及びラベルの保存方法の表示が冷所に切り替わっています。ビタミン注射液500mgを在庫している部署においては、冷所での保存をお願いいたします。

B 型肝炎治療薬使用前に HIV 確認検査を行って下さい

- ◎テノゼット錠300mg(一般名:テノホビル)＜抗ウイルス剤＞
- ◎ゼフィックス錠100mg(一般名:ラミブジン)＜抗ウイルス剤＞
- ◎バラクルード錠0.5mg(一般名:エンテカビル)＜抗ウイルス剤＞
- ◎ヘプセラ錠10mg(一般名:アデホピルピボキシル)＜抗ウイルス剤＞

・B型急性肝炎は自然治癒傾向が強い疾患です。しかし近年、欧米型(遺伝子型:A型)の症例が増加傾向にあり、遺伝子型A型では、慢性化する可能性があり、注意が必要です。

・急性肝炎重症型および劇症肝炎に対してはラミブジンの投与が有効です。プロトンポンプ阻害剤が40%以下になる前を目安にラミブジンの投与が推奨されます。HBs抗原が陰性化したらラミブジンを中止します。

・B型急性肝炎の感染経路として性行為感染が増加しています。B型急性肝炎の症例に対して核酸アナログ製剤を使用する際には、**事前にHIV感染症の合併の有無を確認しましょう。**HIV感染症に対する抗ウイルス治療の薬剤中にHBVに対する抗ウイルス薬と同一成分が含有されており、単剤使用はHIVに対する抗ウイルス治療の効果減弱の要因になるため、留意しましょう。(国内のB型急性肝炎症例の半数以上はジェノタイプAで、HIVと同じ感染経路(性感染症)が疑われます。)

『B型肝炎治療ガイドライン(第2.1版)』2015年5月 日本肝臓学会 肝炎診療ガイドライン作成委員会編pp.66を引用し改編

長期実務実習を行っています

5月9日から7月22日まで、薬学部5年生を対象とした長期実務実習(5名)、薬剤師研修(1名)を行っています。薬物治療の有効性と安全性向上に貢献できる薬剤師を目指して、知識と技能の取得に精力的に取り組んでいます。病棟業務・服薬指導等で病棟を訪れた際にはよろしくお願ひします。

「薬-薬連携による副作用シグナル検出システム」第20回報告会開催

2011年4月1日から山口大学医学部附属病院薬剤部と宇部薬剤師会との連携で行っている「副作用シグナル検出システム」について、システムの改善策や要望等を協議するため、双方で定期的に報告会を開催しています。

第20回報告会を以下の日程及び内容で開催しました。

【日時】2016年5月19日(木) 19:30~21:00

【場所】山口大学医学部保健学科 S2 講義室

【主な内容】・医師への副作用シグナル報告例の詳細

・臨床試験データって信用できるの?—あなたは騙されていませんか?—

適正使用のお知らせ

◎ダクルインザ錠60mg(一般名:ダクラタスビル塩酸塩)＜抗ウイルス剤＞

◎スンペプラカプセル100mg(一般名:アスナプレビル)＜抗ウイルス剤＞

※C型肝炎治療中のB型肝炎ウイルス再活性化について

本剤治療中のB型肝炎ウイルスキャリアの患者(HBs抗原陽性)又は既往感染者(HBs抗原陰性、かつHBc抗体又はHBs抗体陽性)において、本剤を投与開始後、C型肝炎ウイルス量が低下する一方、B型肝炎ウイルスが再活性化し、肝機能障害に至った症例が報告されており、中には死亡に至った症例も報告されています。

・投与前のB型肝炎ウイルスマーカーの検査

本剤投与開始前に、B型肝炎ウイルスマーカーの検査を行い、B型肝炎ウイルス感染の有無を確認してください。

・投与中のB型肝炎ウイルスマーカーのモニタリング

B型肝炎ウイルスキャリアの患者又は既往感染者に本剤を投与する場合は、肝機能検査に加え、HBV DNA量等のB型肝炎ウイルスマーカーのモニタリングを行うなど、B型肝炎ウイルスの再活性化の徴候や症状の発現に注意してください。

効能効果、禁忌追加等のお知らせ

◎セルセプトカプセル250mg(一般名:ミコフェノール酸モフェチル)＜免疫抑制剤＞

【効能・効果】 ループス腎炎

【用法・用量】 成人：1回250～1000mgを1日2回12時間毎に食後投与。1日3000mgを上限として適宜増減。

小児：1回150～600mg/m²を1日2回12時間毎に食後投与。1日2000mgを上限として適宜増減。

◎プロイメンド点滴静注用150mg(一般名:ホスアプレピタントメグルミン)＜選択的NK₁受容体拮抗型制吐剤＞

【用法・用量】 生後6ヵ月以上の乳幼児及び12歳未満の小児：他の制吐剤との併用において、3.0mg/kgを抗悪性腫瘍剤投与1日目に1回点滴静注。150mgを超えないこと。

◎レミケード点滴静注用100mg(一般名:インフリキシマブ(遺伝子組換え))＜抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤＞

【用法・用量】 <乾癬>6週の投与以後、効果不十分又は効果が減弱した場合には、投与量の増量や投与間隔の短縮が可能。これらの投与量の増量や投与間隔の短縮は患者の状態に応じて段階的に行う。投与量の上限は、8週間の間隔であれば10mg/kg、投与間隔を短縮した場合であれば6mg/kg。最短の投与間隔は4週間。

◎イグザレルト錠10mg,15mg(一般名:リバーロキサバン)＜選択的直接作用型第X_a因子阻害剤＞

◎ルナベル配合錠ULD(一般名:ノルエチステロン・エチニルエストラジオール)＜月経困難症治療剤＞

【禁忌】 オムビタスビル水和物・パリタプレビル水和物・リトナビル配合錠

◎コセンテックス皮下注150mgシリンジ(一般名:セクキヌマブ(遺伝子組換え))

＜ヒト型抗ヒトIL-17Aモノクローナル抗体製剤＞(緊急購入薬)

在宅自己注射保険適用追加。

包装変更等のお知らせ

◎大塚生食注(100mLプラボトル入り),大塚糖液5%(100mLプラボトル入り),大塚蒸留水(100mLプラボトル入り)
ゴム栓変更及びプルオフキャップ開封方法変更。

◎エレンタール配合内用剤<成分栄養剤>
プラスチック容器のラベル目盛り追記・ノッチ化。

◎タイケルブ錠250mg(一般名:ラパチニブトシル酸塩水和物)<抗悪性腫瘍剤>
販売移管に伴う包装表示変更。

◎ネオキシテープ73.5mg(一般名:オキシブチニン塩酸塩)<過活動膀胱治療剤>
共同販売終了に伴い包装変更(製造販売元:久光製薬株式会社)。

投与期間制限解除のお知らせ

- ◎オプスミット錠10mg(一般名:マシテンタン)<エンドセリン受容体拮抗剤>
◎ザファテック錠100mg(一般名:トレラグリプテンコハク酸塩)<持続性選択的DPP-4阻害剤>
◎ソバルディ錠400mg(一般名:ソホスブビル)<抗ウイルス剤>
◎ワントラム錠100mg(一般名:トラマドール塩酸塩)<持続性がん疼痛・慢性疼痛治療剤>
◎エクリラ400 μ gジヤヌエア30吸入用(一般名:アクリジニウム臭化物)<COPD治療剤>
薬価収載後1年が経過したため、2016年6月1日から投与期間制限が解除され長期投与可能。

緊急購入薬の診療科限定オーダ開始のお知らせ

オーダ開始日	緊急購入薬	対象診療科
2016. 5. 9	ゾレア皮下注用 150mg	呼吸器感染症内科
2016. 5. 12	リスパダールコンスタ筋注用 50mg	精神神経科

オーダ中止のお知らせ

オーダ中止日	薬剤名	理由
2016. 4. 28	オルメテック錠 20mg	オルメテック OD 錠 20mg 採用のため
2016. 5. 6	ツムラ四物湯エキス顆粒	在庫がなくなったため
2016. 5. 11	ストラテラカプセル 5mg	ストラテラ内用液 0.4%採用のため
2016. 5. 19	アレディア点滴静注用 30mg(緊急購入薬)	販売中止のため

☆Drug Safety Update No. 249 より使用上の注意改訂のお知らせ

改訂内容の重要度 ★：最重要 ※：重要

成分名（薬品名）	主な改訂内容
ガバペンチン（ガバペン錠）	※重大な副作用：アナフィラキシー …アナフィラキシー（血管性浮腫、呼吸困難等）があらわれることがあるので、十分観察、異常が認められた場合には投与中止、適切な処置。
レボドパ・カルベドパ水和物（メネット配合錠） レボドパ・ベンゼラジド塩酸塩（マトパ配合錠）	※重大な副作用：閉塞隅角緑内障 …急激な眼圧上昇を伴う閉塞隅角緑内障を起こすことがあるので、霧視、眼痛、充血、頭痛、嘔気等が認められた場合には、投与中止、直ちに適切な処置。
ガバペンチンエタカルビル（レグナト錠）	※重大な副作用（類薬）：アナフィラキシー …アナフィラキシー（血管性浮腫、呼吸困難等）があらわれることがあるので、十分観察、異常が認められた場合には投与中止、適切な処置。
エトキナントシル酸塩水和物（リクシア錠）	※重大な副作用：肝機能障害、黄疸 …AST（GOT）、ALT（GPT）の上昇等を伴う肝機能障害、黄疸があらわれることがあるので、十分観察、異常が認められた場合には投与中止、適切な処置。
リバーロキサホン（イクザレルト錠）	※重大な副作用：血小板減少 …十分観察、異常が認められた場合には投与中止、適切な処置。
シタグリブチリン酸塩水和物（クラクティブ錠、ジャヌビア錠） ビルタグリブチン（エカ錠）	※重大な副作用：類天疱瘡 …水疱、びらん等があらわれた場合には、皮膚科医と相談し、投与中止、適切な処置。
アファチエブマレイン酸塩（ジオトリブ錠）	※重大な副作用：急性膵炎 …十分観察、腹痛、血清アミラーゼ値の上昇等の異常が認められた場合には投与中止、適切な処置。
オセルタミビルリン酸塩（タミフルカプセル・ドライシロップ）	※重大な副作用：虚血性大腸炎
ペラミビル水和物（ラビアクタ点滴静注液パック）	※重要な基本的注意： ショック、アナフィラキシーがあらわれることがあるので、投与中は救急処置の可能な状態で患者の状態を十分観察。また、投与終了後もショック、アナフィラキシーがあらわれることがあるので、注意。 ※重大な副作用：アナフィラキシー（呼吸困難、蕁麻疹等）
塩化ナトリウム・塩化カリウム・無水硫酸ナトリウム・マクロゴール4000・アスコルビン酸・L-アスコルビン酸ナトリウム（モビプロレップ配合内用剤）	※重大な副作用：失神、意識消失 …血圧低下を伴う症例も報告されている。十分観察、異常が認められた場合には適切な処置。なお、自宅で服用させる場合は、「重要な基本的注意」の項を参照し、指導。

※DSUについて：最重要、重要な情報を掲載しています。その他詳細情報については、医薬品・医療機器情報提供ホームページ（<http://www.pmda.go.jp/>）で確認可能